

「大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍」入院診療計画書

様

特別な栄養管理の必要性 (有 ・ 無)

主治医:

担当看護師:

患者様サイン欄:

| 経過 | 入院～手術前々日 | 手術前日 | 手術当日(手術前) | 手術当日(手術後) | 手術後1～2日目 | 手術後3日目 | 手術後4～6日目 | 手術後7～14日目 |
|-----------------------|---|---|--|--|--|---|--|---|
| 治療について (手術日・退院日など) | | | | (ICUへ入室の予定) | (病棟へ帰室予定) | | | 点滴、ドレーンが抜け食事が十分に摂取可能なら退院可能です。 |
| 安静度 リハビリについて | 病院内を自由に歩くことができます。  | → | 車いすか歩いて手術室へ向かいます。 | ベッド上で安静にしてください。寝返りや膝たてはできません。 | 座位から立位へと徐々に離床を進めます。歩行も可能です。 | | | → |
| 食事について | 食事は摂れますが、ご本人の状態や検査の内容により食事制限があります。 | 食事は昼食までですが、ご本人の状態によって変更します。 水分は21時まで摂れます。 | 飲んだり食べたりできません。うがいはできます。  | | 2日目から水分が摂れます。 | | 4日目から流動食を開始します。  | 徐々に食事の形態をアップし7日目には全粥になります。 栄養士から退院後の食事について説明があります。 |
| 薬剤について (点滴・内服など) | ご本人の状態や検査により点滴を行います。今まで飲んでいた薬は医師の指示にしたがって下さい。 | → | 朝から点滴を行います。 内服薬は中止して下さい。 | 点滴を行います。背中からの持続的に痛み止めを行います。 | 痛み止めの薬がなくなったら背中からの管を抜きます。 |  | → | 食事が十分に摂取できるようになったら点滴は終了です。 薬剤師から退院後の薬の内容と管理について説明があります。  |
| 検査について | (手術の前日までに) 外来で行わなかった検査や適宜追加が必要な検査を行います。  | | | 採血とレントゲン検査があります。 | 1日目:採血とレントゲン検査があります。 | 採血やレントゲンは適宜行います。 | → | |
| 処置について (ガーゼの交換など) | 呼吸訓練を行います。適宜術後も行います。痰を促す為に吸入を行うこともあります。臍部をきれいにします。 | | 朝6時に浣腸をします。点滴の針を入れたままにしておきます。病衣に着替えて、弾力性のストッキングを着用します。 | 酸素マスク、心電図モニターをつけます。鼻の管は入れたままにしておきます。 お腹に管が入ってきます。 | 1日目:医師の指示で酸素マスクを外します。鼻の管を抜きます。お腹の診察をします。歩行可能ならストッキングを外します。 | お腹の診察をします。 | 4日目以降にお腹の管を抜きます。 | → |
| 清潔について (シャワー・入浴など) | 入浴は指示にしたがって下さい。 | 必ず入浴して下さい。  | 入浴はできません。  | 汗をかいたらその都度体を拭きます。 | 看護師が蒸しタオルで体を拭きます。  | 洗髪。下半身シャワー浴ができます。 | → | お腹の管が抜けた方は絆創膏を貼ってシャワー浴ができます。 |
| 排泄について | | | 手術中に尿を出すための管を入れます。 | 尿管は入れたままにしておきます。 | 歩行が可能なら尿管を抜きます。その後は尿の測定を行います。 | → | 5日目まで尿の測定を行います。尿の回数をチェックしてください。 | → |
| 患者さん及びご家族への説明 | 手術前後の経過について説明します。入院中はタバコは吸えません。  | | | 医師から手術の結果についてご家族の方に説明がありますので、手術室の前でお待ち下さい。 | | 看護師から食事について説明します。 | → | 医師から退院について説明があります。看護師から退院後について説明します。  |

注1) 病名等は、現時点で考えられるものですので、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

注2) 入院期間、表記の日時については現時点での予定です。

注3) ご質問等ございましたら、お気軽にスタッフまで声をかけて下さい。